

授業科目名	社会的養護Ⅱ	担当教員名	入江 実
科目区分	教職・保育に関する科目	施行規則に定める 科目区分 等	保育の内容・方法の理解に関する科目
必修・選択/単位数	必修 / 1単位 (15時間)	授業方法/担当形態	演習 / 単独
開講学年/学期	3年 後期 (3期) / 年間開講数 1講座	特記事項	※実務経験のある教員等による授業 児童養護施設主任児童指導員としての実務経験を活かして、具体的な実践記録を紹介して授業を行っている。
授業の概要 及び 全体目標	社会的養護の中心となる児童養護施設での児童の入所、そして生活、最終目標である退所に向けての対応を物語風にまとめたプリントを活用して、自らが感じたことや学習したことをレポートにまとめた報告していくという演習形式で進める。		
到達目標	(1)子どもの理解を踏まえた社会的養護の基礎的な内容について具体的に理解する。 (2)施設養護及び家庭養護の実際について理解する。 (3)社会的養護における計画・記録・自己評価の実際について理解する。 (4)社会的養護に関わる相談援助の方法・技術について理解する。 (5)社会的養護における子ども虐待の防止と家庭支援について理解する。		
テキスト	「社会的養護入門」芝野松次郎/新川幸弘/山川宏和編著 (ミネルヴァ書房)		
参考書・ 参考資料等	指定せず		
成績評価の方法	○授業参加意欲：35% ○新聞記事等によるレポート：20% ○授業内試験：45%		
授業外（事前・事後）学習の方法、オフィスアワー等			
授業計画	授業の内容	到達目標番号	
第1回	はじめに		
第2回	第14章 社会的養護に関わる専門技術（p 170） 1. 演習事例「社会的養護における保育の専門性に基づく実践」	(1),(2)	
第3回	第14章 社会的養護に関わる専門技術（p 170） 1. 演習事例「社会的養護における保育の専門性に基づく実践」	(2),(3)	
第4回	第14章（p 174） 2. 演習事例「社会的養護に関わる相談援助の実践」	(3)、(4)	
第5回	第14章（p 174） 2. 演習事例「社会的養護に関わる相談援助の実践」	(3)、(4)	
第6回	第14章（p 178） 3. 演習事例「社会的養護における家庭支援の実践」	(3)、(4)	
第7回	第14章（p 178） 3. 演習事例「社会的養護における家庭支援の実践」	(5)	
第8回	まとめ		